議論

山陽小野田市議会
vol.75　令和6年12月

9月定例会 P7~11

9名が一般質問

委員会レポート P5~6

- 市民病院の現状
- 駐車場利用者がコロナ以前に回復

視察報告 P12

交通弱者の移動手段確保に向けて　山口市　広島県竹原市

津山市議会公式「市議会スタジオ」に学ぶ　岡山県津山市

＼ 議員研修会 ／ P7

DXの取組みと地方議会

モートンベイ市長ら議会訪問

市民の声を生かせているか！

9月定例会において決算審査 P2~4

（審査事業22、附帯決議1）

親しみやすい雰囲気づくり

服装の自由化が進む

決算を審査して今後の予算につなげる！

重点的な審査は22事業

令和５年度一般会計決算について、３つの分科会（総務文教・民生福祉・産業建設）で審査を行いました。分科会で審査した主な事業についてお伝えします。

■ゴルフ場ＰＲ事業

ゴルフのまち山陽小野田をＰＲ！

本市における観光資源の１つである「ゴルフ場」にスポットを当て、本市の認知度向上および誘客促進を図ることを目的とするものです

○市内ゴルフ場のパンフレットを１万部作成した
○今後はデジタルによるＰＲを検討
○令和６年度に韓国語版と英語版を作成予定

決算額　99万8000円

民間委託の効果が顕著に！

■サッカー交流公園運営業務

指定管理者であるレノファ・アクティオ共同体が運営を行っています

○サッカー以外のイベントを企画運営、ホームページやインスタグラムなどでＰＲ活動を行うことにより、利用者は従前を上回る
○平日の利用者獲得が今後の課題

決算額　6660万6000円

■子ども医療費助成拡充事業

子育て支援を拡大！

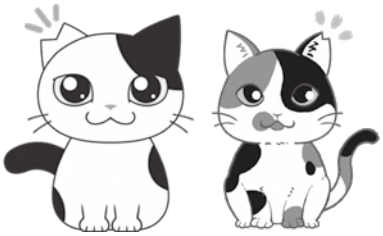
小学生から中学生までを対象に保護者の所得にかかわらず医療費を助成するものです

○目的である子育て世代の経済的負担減が達成された

決算額　１億1437万9000円

地域猫活動を支援！

■飼い主のいない猫不妊・去勢手術補助事業



飼い主のいない猫の繁殖防止及びそれらの猫による生活環境被害の軽減を目的として、ＴＮＲ活動※を実施する登録団体に補助金を交付するものです

○自治会からの依頼でＴＮＲ活動を行うことが多い
○令和５年度はオス73頭、メス84頭、合計157頭に対する不妊・去勢手術を補助した
○１頭当たりオス５千円、メス１万円を助成した
○不妊・去勢手術を行う際の捕獲機を５台購入した

決算額　127万1000円

※ＴＮＲ活動とは？
対象となる猫を捕獲して、手術後に放すことにより、その猫は一代限りとなり、子孫が増えなくなる。この方法をＴｒａｐ［捕まえる］Ｎｅｕｔｅｒ［手術する］Ｒｅｔｕｒｎ［戻す］もしくはＲｅｌｅａｓｅ［放す］の頭文字からＴＮＲ活動という。

歳入総額 332 億円
歳出総額 326 億円

市の予算は、使って終わりではありません。決算審査では、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを、議会で審査し、改善点の指摘や要望をします。それを市が「今後の予算に生かす」ことにより、決算審査の結果は、今後のまちづくりにつながっていきます。

■浄化槽整備推進事業

家庭用浄化槽設置を推進！

個人住宅に浄化槽を設置する人に補助金を交付するもので、上乗せ補助を開始します

○補助対象地域は公共下水道事業計画区域外および農業集落排水整備区域外となる
○用途地域のうち全体計画区域から除外された区域、公共下水道事業計画区域および全体計画区域の両方から除外された区域は上乗せ補助がある

決算額　6968 万 2000 円

住環境を改善！

■市営住宅建替整備事業

山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数超過のものから建て替え事業を実施します

○叶松団地、平原団地、西善寺団地が対象となる
○地元への説明とヒアリング、アンケート調査を行った

決算額　6372 万 6000 円

■厚狭駅前駐輪場整備事業

通勤通学に駅前駐輪場を活用！

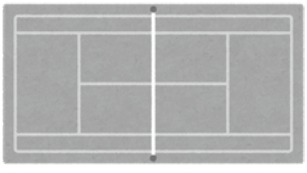
ＪＲ厚狭駅周辺の駐輪スペース不足を解消するため、在来線側に駐輪場を新たに整備したものです

○新たに整備した部分には 60 台の駐輪が確保され、既存の駐輪場スペースに余裕ができている
○令和５年度の不法駐輪調査は年に２回実施している

決算額　367 万 5000 円

スポーツ人口増大に貢献！

■テニスコート改修事業



都市公園内にあるテニスコートについて、計画的にスポーツ振興くじ助成金※を活用し、コートや設備の改修を行うものです

○今年度は浜河内緑地公園のテニスコートを４面改修した
○改修工事の影響で利用者は一時的に減少したが、現在は回復している

決算額　2791 万 9000 円

※スポーツ振興くじ助成金とは？
スポーツくじ(toto・BIG)の販売により得られる資金をもとに、地方公共団体等のスポーツ振興を目的とする事業への助成制度。

令和５年度決算審査について
４項目の附帯決議を全会一致で可決

全文はこちらから↓

委員会提出決議案第１号
をご覧ください

消防団の装備の充実について

消防団が使命を十全に果たすためには、隊員一人一人が活動しやすい環境を整えることが不可欠である。ついては、来年度の消防団の装備に係る予算は、消防団活動を行う上で必要な装備が行きわたるように立案することを求める。

不二輸送機ホールにおけるイベントの広報手段等の充実について

不二輸送機ホールにおいて、現在実施しているイベントを十分に周知できていないのが現状である。ついては、来年度予算において、本市の文化の発信拠点としてふさわしい広報手段・内容を充実させるための予算を確保することを求める。

特別支援教育支援員業務委託契約の内容の検討について

特別支援教育支援員は、特別な支援が必要な児童生徒に対して学校におけるサポート等を行うなど、インクルーシブ教育の面からも不可欠な人材であるが、当該支援員に支払う委託料は十分とはいえないのが現状である。 ついては、近隣市の状況などを踏まえ、優秀な人材を確保し、特別支援教育支援員が十分に活動できるよう、待遇面を含めて業務委託契約の内容の検討を求める。

住宅リフォーム資金助成事業に係る予算の増額について

住宅リフォーム資金助成事業は、市民の住環境の向上を目的とした制度で、地域経済を活性化させるものであるが、受付期間内に予算額の上限に達し、市民の要望に十分に応えられていない。ついては、来年度以降の住宅リフォーム資金助成事業の予算の増額を求める。

◉附帯決議とは？

議案を議決するに当たって、議会の希望意見として付すものをいいます。法律的な効果ではなく、政治的に尊重されるべきものとされています。

地域運営組織形成に向けた人的・財政的支援

◉地域運営組織形成の関連事業

概要　アドバイザー派遣事業は話し合いの人的支援であり、ＮＰＯ法人市民プロデュースに委託して行っています。アドバイザーは、職員向けの研修会を開催し、また、各地区のワークショップ開催時のファシリテーターを務める等、トータルサポートを行いました。

地域運営組織形成支援補助金交付事業では地域運営組織形成検討会を設置した10地区に対して、資料作成や先進地視察等に要する経費等の財政的支援として、1地区につき10万円を交付しました。

集落支援員設置事業では、地域の実情に詳しく、地域づくりの取組みに意欲的な人材を地域づくり支援員として配置しました。地域運営組織形成検討会の運営支援のほか、地域の現状や課題の整理、地域づくり計画の策定支援等を地域交流センター職員とともに行っています。

主な質疑

Q 地域運営組織形成検討会を設置しなかった1地区の状況はどうか。

A その地区は、もともと地区内の各団体間の連携が強いため、改めて連携・協働するような場を持つ必要がないという考えがあり検討会を設置していない。しかし、地区内で地域運営組織に係る協議は進めている。

Q 各地区の地域運営組織形成検討会はどの程度視察を行っているのか。

A 8地区が10カ所に視察に行っている。

Q 地域づくり支援員の雇用を拡充する考えはあるのか。

A 地域差はあるが支援員の業務量は多く、時間の延長や増員の要望はある。場合によっては、今の体制そのものを変えていく必要があると考えている。

災害応急対応を迅速に行うために

◉災害応急工事委託料

概要　今年は6月末と7月中旬の大雨により、応急工事が必要となる災害が多く発生しました。既に46件の工事に対応してきましたが、現在、委託料の予算が足りない状況となっています。今後も台風による災害が見込まれる中で、災害が発生した場合に迅速に応急対応するために、過去5年間の台風シーズンに支出した委託料の額を参考にして災害応急工事委託料を増額補正するものです。

主な質疑

Q 過去5年間だけを見ると510万円で足りるが、それ以前を見ても、この額は妥当なのか。

A 以前の実績についても勘案しているが、災害の状況、被災箇所の復旧に要する工法がさまざまであり、正確な見積りはなかなか困難だが、おおむね妥当であると判断している。

Q 災害応急工事は、どのような流れで行うのか。

A 災害発生後、市民等からの連絡を受けて担当部署の職員が現地を確認し、担当課と総務課で協議する。その後、災害応急の対応が必要であれば業者に発注し、工事に取りかかることになる。迅速に復旧工事ができるように取り計らっている。

市民病院の決算認定について

◉令和５年度山陽小野田市病院事業決算認定

概要　病院事業収益が 47 億 4778 万 8790 円に対し、病院事業費用が 49 億 2580 万 8510 円となりました。この結果、損益計算の収支差引では 1 億 7801 万 9720 円の当年度純損失を生じ、当年度未処理欠損金は 29 億 2391 万 3421 円となりました。

資本的支出は、建物建築費や医療機器更新に伴う器械及び備品費、企業債償還金で 6 億 294 万 5683 円となりました。これに対する財源として、資本的収入の企業債及び他会計負担金で 3 億 8895 万 8549 円を充て、差引不足額 2 億 1398 万 7134 円は消費税等資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金で補填（ほてん）されました。

山陽小野田市民病院

主な質疑

Q 材料費が増加しているのはなぜか。

A 主に増加したものは注射用薬品費で、化学療法患者の増加によるものである。

Q 新型コロナウイルス感染症の空床保障が、どの程度収益に影響しているのか。

A 空床保障に係る補助金は、令和 4 年度が 7 億 4700 万円程度だったのに対し、令和 5 年度は 4100 万円程度となり 7 億円程度減少した。

Q 個室利用率について、当初予算の審査では 84.1％と説明があったが、最終的にはどうなったのか。

A 新型コロナウイルスに感染した患者の管理のため、病院都合で有料個室に入室させる必要があったため個室利用率は 64％となった。

料金収入はコロナ前にまで回復基調

◉駐車場事業特別会計決算認定

概要　決算における歳入合計 5282 万円 1054 円に対し、歳出合計は 853 万円 9873 円となり、差引残額は 4428 万 1181 円となりました。主な収入は駐車場使用料で、支出の内容は、精算機のリースや修繕費のほか、消耗品、光熱水費、草刈りやトイレなどの清掃委託料です。

休日の利用者は堅調

主な質疑

Q 利用状況はどうか。

A 一日当たり 142 台で、稼働率は 75％で前年度より 15％増加した。定期利用者についても 732 人と前年度より 94 人増加した。いずれも利用状況はコロナ前の令和元年度駐車料金の約 94％まで回復している。

Q 修繕の内容はどのようなものか。

A 街灯、管理棟やトイレの修繕、精算機のゲートの基盤の補修をした。また、区画線について、消えかかったものから随時補修している。

Q 駐車場奥の未舗装部分について工事の予定はあるのか。

A 未舗装部分については、今年 3 月に見直した駐車場経営戦略に基づき、令和 7 年度に施工を予定している。

オンライン研修会

令和６年８月９日（金）、山口県市議会議長会主催の研修会にオンラインで出席しました。

講師：早稲田大学政治経済学術院教授
稲継　裕昭　氏

演題：「自治体ＤＸの取組みと地方議会」

主なテーマ
- 住民に身近なＤＸの推進
- トランスフォーメーションの重要性
- ＤＸ時代における市議会のデジタル技術による災害対策の在り方

本市議会は議員全員が参加し、地方議会がどのようにデジタル技術を活用して住民サービスを向上させるかについての理解を深めました。

研修の主催となった 山口県市議会議長会 とは？

山口県各市議会の正・副議長をもって組織し、市政に関する諸般の事務を研究し、自治体の向上・発展に資するとともに相互の親善を図ることを目的としています。

年に一回程度、県内の市議会議員を対象とした研修会を行っていますが、令和２年度以降はオンラインで開催されています。

学習障がいの生徒に試験の時間延長

白井健一郎（しらいけんいちろう）議員

【今回の一般質問】
- 定期試験の時間延長の可否
- 高校入試の時間延長の可否
- 配慮に先立つ建設的対話

学校の取組み

Q ＷＩＳＣ（知能を測る検査）で学習障がいがあるとされた中学生に対する合理的配慮（改正障害者差別解消法）として、定期試験の時間延長は認められないか。

A 障がいのある生徒が特別な配慮や支援を希望した場合、学校としてはさまざまなことを考慮し、実施が可能であれば学校行事や授業等の教育活動において合理的な配慮や支援を行う。可能な範囲で時間延長をすることになると考える。

Q このような生徒が高校入試を受験する場合、時間延長という合理的配慮を市から高校側に要請できないか。

A 公立高校の受験について所管する県の高校教育課によれば、令和５年度入試要項には合理的配慮の申請について記述しており、複数の事例があった。公立高校と私立高校ともに、受験時において障害者差別解消法の趣旨に従い合理的配慮を行うことを確認している。

推奨される「建設的対話」とは

Q 配慮に先立つ「建設的対話」についてどう考えているか。

A 双方で解決を模索すべく重ねていく会話だと捉えている。建設的な対話無しに、少なくとも前例がないといった理由のみで否定してはいけないと考える。

森山喜久（もりやまよしひさ）議員

特別教室にエアコン導入を

【今回の一般質問】
・市民生活への熱中症対策
・市内小中学校の熱中症対策
・市内小中学校等の暑さ対策

快適環境を

Q 市内小中学校で使用する教室で、エアコンが設置されていない教室はどのくらいあるのか。

A 使用する教室を普通教室および理科室等の特別教室とした上で、令和6年9月1日現在、特別支援教室を含めた普通教室については100％設置している。特別教室は図書室や音楽室を中心に228教室のうち104教室に設置しており、設置率は45.6％である。

健康面の安全と学習環境の向上を

Q エアコン未設置の教室にもエアコンの設置が必要だと考えるがどうか。

A 児童生徒の健康面だけではなく、学習環境の向上の観点からもエアコン設置は効果的であるとは認識をしている。設置には相当の財源が必要となるので、当面の設置は困難だと考えている。

Q 令和元年度に設置したエアコンの更新計画はあるのか、ないのか。

A 現在、エアコンの更新に関する年次計画を策定できていないが、良好な教育環境を維持するため計画の策定は不可欠と考えている。エアコン更新は大きな財源負担を伴うので、年度間の負担の平準化を図りつつ、学校運営に支障を来さないよう、他の市町村の事例等を参考に研究し、計画策定に努めたい。

図書室に設置済みのエアコン

奥良秀（おくよしひで）議員

子供たちを守る熱中症対策は十分か

【今回の一般質問】
・就学前施設の熱中症対策
・学校登下校時の熱中症対策
・市職員の熱中症対策

猛暑対策の現状

Q 夏は年々暑くなっている中、幼稚園や保育所等ではさまざまな熱中症対策を行っているが、十分に行えているだろうか。他市のように、幼稚園や保育所等の熱中症対策のため自由に活用できる補助の創設は検討できないか。

A 補助を必要としているという現場の声は現在聞いていない。今後さらに夏場の気温が上昇して屋外活動の機会が減少する懸念がある場合には、国、県、他市の動向を注視して検討する。

現在の熱中症対策で万全か

Q 登下校時、児童生徒に日傘・ネッククーラーやクールタオルを携行してもよいか。また、学校は保護者にどのように通知しているのか。

A 熱中症対策の携行品は、以前は認められていない学校もあったが、現在では柔軟な対応を行っている。携行品持参については、推奨という形で保護者への通知はしていない。

Q 児童生徒が猛暑の中、登下校する際に暑さから自身を守るために何が必要なのか、アンケート調査を行うべきではないか。

A 子どもたちを身近で見ている先生に聞き取ってみたい。また、登下校の熱中症対策について、いろいろ支援を行う自治体があるが、本市では、登下校は保護者の責任と捉え、水分補給が十分できるように協力をお願いしたい。

35℃を超える中での危険な帰り道

議会中継ページをチェック

吉永美子（よしながよしこ）議員

自治会に優しい市であってほしい

【今回の一般質問】
・市所有の地域の公園の遊具
・防災に女性の視点の活用
・動物愛護　など

市の責任です

Q 自治会から古くなった遊具の撤去に関する相談を受け、調査した結果をもって聞くが、本市では、市が所有し自治会に管理をお願いしている公園の遊具の撤去をする場合には補助の対象とならないこととなっている。このような取組みをしている市が県内にあるのか。

A 他市では、遊具の撤去については市が行っている状況であり、今回調査した範囲では、本市と同じようにしているところはなかった。

Q 自治会が遊具の撤去をしたくても、費用の関係で実施できない状況にあったときに、もしもそこで子どもがけがをするような事例が起きたら、誰の責任になるのか。

A 遊具の老朽化がけがの原因であれば、維持管理が適切に行われていなかったとして、管理者である地元自治会に責任が問われる可能性があると考えている。

今こそ市長の英断を！

Q 他市のように、もっと温かく自治会に対応してあげていただきたい。市長の英断を求める。

A 自治会が管理している公園の遊具の撤去を市で行うことについては、現行制度では該当するものがない。とはいえ、さまざまな意見もあるので、今後の課題として関係部署で協議を進めていきたい。

大井淳一朗（おおいじゅんいちろう）議員

何らかの方針を示すべき

【今回の一般質問】
・都市公園等のトイレ整備
・中学生市議会
・太陽光パネル設置

太陽光パネル

Q 太陽光パネルのメリット、デメリットをどのように捉えているのか。

A メリットとして、地球温暖化防止につながることや災害時の電源に有用であることが挙げられる。一方、デメリットとして、景観、生態系や居住環境等への懸念、今後想定されるパネルの大量廃棄への対策が挙げられる。

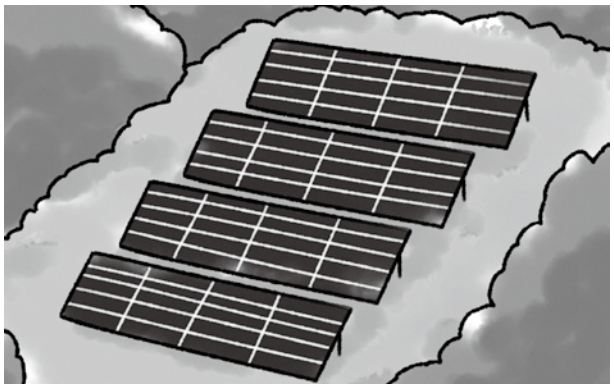
Q 太陽光パネル設置に関するトラブルに対して、市はどのように対応しているのか。

A 太陽光パネルの維持管理についての責任は設置事業者にあるので、基本的には当事者間の話し合いによって問題解決につながるように対応している。ただ、トラブルの原因が法令等の違反による場合は、市として厳正に対処することになる。

県内でも条例制定の動きが

Q 美祢市、下関市、岩国市は条例を、宇部市や田布施町では指導要綱を定めている。本市も何らかの方針を示すべきではないか。

A 条例を作るには制度設計上の難しさがある。この２月に、資源エネルギー庁が「説明会及び事前周知措置実施ガイドライン」を定めたので、これに基づいて、行政のできる範囲で対応する。条例や指導要綱制定の動きについては他市の動向を注視していきたい。



議会中継ページをチェック

山田伸幸（やまだのぶゆき）議員

試験照射に住民団体を排除したのか

【今回の一般質問】
・宇宙監視レーダーの問題
・新型コロナ患者への対応
・子ども誰でも通園制度対応

宇宙監視レーダー

Q ７月に宇宙監視レーダーの実測試験が行われた。６月議会では、実測試験に当たって、計測場所など指摘したが、市はどのような点に留意して実測試験に臨んだのか。

A 測定では、施設外周の東側、西側、南側、北側などレーダーから近い場所のほか、施設近隣の民家や民間事業所の所在地点、および埴生インターチェンジの料金所において実測が行われており、本市の要望に沿った測定場所の選定が行われた。

Q 実測試験には市民団体が立ち会いを求めていたがさせなかったのはなぜか。実測試験の結果はどうだったのか。

A 地元自治会の方が８カ所で11名の市民が立ち会われた。現地は狭くこれ以上の参加はできなかった。試験データ上は問題ない数値だった。

出力が分からず問題ないと言えるか

Q 立ち会いを求めていた市民団体から一人も立ち会いさせないというのはおかしい。実測試験データの測定では、レーダーの出力などは分かっているのか。

A レーダーの出力は明らかではない。

中島好人（なかしまよしと）議員

酷暑から住民の命を守る取組みを

【今回の一般質問】
・医療費助成を高校卒業まで
・学校給食の無償化
・国保の均等割18歳まで免除

なによりも命

Q 東京都監察医務院のデータでは、屋内での熱中症死亡者が176人で、その内127人がエアコンを設置しているが、エアコンを使用しないで死亡した人が63.7%に当たる112人である。安心してエアコンが使用できるよう電気代を助成してはどうか。

A 資源エネルギー庁が「酷暑乗り切り緊急支援」として、８月から10月使用分の電気、ガス料金の軽減措置を行っており、市として電気代を助成することは検討していない。

Q 同じ東京都監察医務院のデータでは、エアコン未設置で亡くなられた人が41人いる。エアコン設置に助成する自治体も増えてきている実態を把握しているか。

A エアコン設置に対する補助金について、全国で数自治体が実行されていることは把握している。

エアコン設置に助成を

Q 生活保護利用者が設置しているエアコンが故障した場合、新たな設置は自己負担となることから、エアコン設置ができず本市で死亡した人もいると聞いた。設置に補助をしてはどうか。

A エアコンを設置されていない世帯に対して、エアコンの購入方法や熱中症予防のためのエアコンの上手な使い方などの説明を行っている。

令和5年夏期の熱中症死亡者（屋内死亡者）のエアコン使用状況

	屋内死亡者数	エアコン設置・使用の有無			
		設置有		設置無	不明
		使用有	使用無		
家族と同居	44人	6人	27人	9人	2人
男	16人	1人	12人	3人	—
女	28人	5人	15人	6人	2人
単身住まい	132人	9人	85人	32人	6人
男	94人	5人	57人	28人	4人
女	38人	4人	28人	4人	2人
合計	176人	127人		41人	8人
		15人	112人		
割合	100.0%	72.2%		23.3%	4.5%
		8.5%	63.7%		

東京都監察医務院HPより

議会中継ページをチェック

矢田松夫（やたまつお）議員

太陽光パネルの苦情相談はどこか

【今回の一般質問】
・公立保育所再編整備事業
・太陽光パネル設置

泣き寝入りの実態

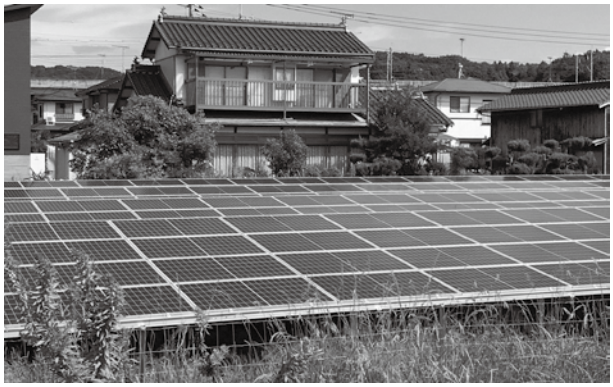
Q 環境課は太陽光パネル設置業者への苦情が５年間で１件と言われるが、山陽小野田市は下関市、山口市に次いで 31 件の設置数であり、年々増大している。雨水排水処理、反射光、市道への流水、農地転用等、苦情処理への対応はどのようになっているのか。

A 環境課で受け付けたのがパワーコンディショナー（機械）の騒音で１件あった。敷地に草が繁茂している苦情も数件ある。環境に関するガイドラインが環境省から出されているので環境課が対応している。市民から非常に迷惑しているという話があれば、基本的にはまず環境課が窓口となり、関連する課でも対応している。

山口県で３番目の設置個所数

Q 業者とのトラブルについて、本市には苦情救済措置を求めた条例や規制もないので、ほとんどが泣き寝入りとなっており、朝起きれば太陽光パネルを見てストレスがたまるのが実態である。本市は土地開発行為の手続きに関する条例があるが、太陽光パネルの規制に適用できないのか。

A あくまでも土地の開発に関する土地の形質や区画の変更に対しての条例であり、規制はできない。苦情があれば、環境課が現地確認をする。



住宅まで接近する太陽光パネル

岡山明（おかやまあきら）議員

希望する市営住宅への入居が第一

【今回の一般質問】
・市営住宅への入居
・学校給食の保護者負担軽減

住みやすい市住

Q 市営住宅の入居状況はどうか。

A ４月１日時点での入居状況は、23 団地 1425 戸のうち、入居数は 830 戸、入居率は 58.2％である。入居者の平均年齢は 55.2 歳であり、単身世帯の割合は 45.8％である。入居率が 70％以上の団地は、本山団地、古開作第２団地、港団地、南中川山手団地、神帆団地、前場団地の６団地である。

Q 過去５年間の入居募集件数と応募状況、市営住宅の供給に目標設定はあるのか。また、政策空き家（建て替え等の移転先）は何戸あるのか。

A 募集件数は５年間で 225 件、応募数は 316 件であり、比較的新しい神帆団地や平原団地の住戸に応募が集中している。市営住宅の供給目標について、明確な目標設定はないが、年平均で 45 戸を供給をしている。政策空き家については、341 戸である。

住みやすい・暮らしやすい市営住宅

Q 障害者、高齢者が入居可能なバリアフリー対応の団地はどの程度あるのか。

A 障害者や高齢者から、手すりの設置を希望されれば対応をしている。３階建て以上の住棟において、エレベーターを設置した団地は３団地 60 戸である。また、車椅子専用住宅が６団地で 11 戸整備している。

新旧の市営住宅

視察報告　民生福祉

■所属議員　奥良秀、吉永美子、中岡英二、古豊和恵、前田浩司、山田伸幸

■視察日　令和６年７月９日、10日

■視察場所　山口市、広島県竹原市

現在本市には高齢者のための交通施策はなく、高齢者等から交通移動弱者への対応について意見や要望を多くいただく。そこで、「福祉優待バス乗車証交付事業」を行っている山口市と、１乗車100円で通院、買い物、公共施設等の外出を支援する「福祉バス事業」を行っている竹原市の視察を行った。

山口市の「福祉優待バス乗車証交付事業」は、高齢者の日常生活の移動手段となっていること、社会参加を促進していくことは介護予防の観点からも重要で、今後も高齢者の増加が見込まれることから、財源確保等課題はあるが本事業の必要性は変わらないと説明があった。

竹原市の「福祉バス事業」は外出支援の一つにはなっているが、目的地に到着するまでに時間を要したり、周知不足等のため利用者数が伸びていなかったりした。そこで、広報活動や事業の見直しを行い利便性を向上する検討を行うとのことだった。

当委員会では、この２市のように実現できたモデルを参考にして、本市でできる交通移動弱者の移動手段を研究し、提言していきたい。

視察報告　矢田松夫議員

■視察日　令和６年７月24日

■視察場所　岡山県津山市議会

（視察の目的）津山市議会における「市議会スタジオ」YouTube配信にまつわる調査

- チャンネル登録者数増大の取組み
- 市民からの関心や反応状況
- 画面に議員の一般質問視聴回数が表示されているが、議員への関心度数か
- 委員会別にYouTube配信されているが、どのような効果が表れているか

（考察）

1. 市民に「議会」を知り関心を持っていただくためには、映像の力は大事であり、共通認識で取り組まなければならない。
2. そのためには、議会中継のタイトルは、市民に目立つタイトルや画像が望ましい。
3. できるだけ多くの議員が画像に登場することにより市民の関心や議会活動が見えてくる。
4. 最低でも、月１本の動画配信をすることにより関心度が強化されてくる。
5. YouTube編集場所は、音響、照明器具が整っている議場を活用してはどうかなど、YouTubeによる動画配信が「山陽小野田市議会」の存在を知っていただくツールであることを強く感じた。今後の「広報・広聴」活動に生かしていきたい。

市議会モニターとの意見交換会を開催

これまでの市議会の活動や運営について、市議会モニターの皆さんから意見を聴取するため、意見交換会を 10 月 17 日に開催しました。意見交換会で出された意見は、広聴特別委員会で議論、整理し、議長に結果を報告します。その結果は市議会モニターに報告するとともに、ホームページで公開しています。

意見交換会で出された意見

・議員が一般質問でいろいろ聞いているが、「自分が知らないから聞く」ように聞こえる。ある程度分かった上での質問かどうかが疑問。

・市長はほとんど回答されない。もう少し市長の答弁を引き出すような再質問について議会で考えていただけないか。

議会カフェ 90 人の市民が参加！

11 月 7 日に、不二輸送機ホール、A スクエアの 2 カ所で開催しました。

参加者の感想

・議会報告動画は、委員長が分かりやすい言葉で話されていたと思う。数字等がすぐに消えてしまうので紙面にするとよいと思う。

・意見交換の時間が少なく、盛り上がったときに時間切れとなった。時間を多めにとってほしい。

・会場は近くの地域交流センターで行ってほしい。

◎賛否の分かれた議案の議決結果

←全議案（21 件）の審議結果は、ホームページに掲載しています。

令和 6 年 9 月定例会	議決結果	議員名																				
		伊場勇	大井淳一朗	岡山明	奥良秀	笹木慶之	白井健一郎	恒松恵子	中岡英二	中島好人	中村博行	福田勝政	藤岡修美	古豊和恵	前田浩司	松尾数則	宮本政志	森山喜久	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	髙松秀樹
令和５年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	―	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
令和５年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	―	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
令和５年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	―	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
山陽小野田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	

○：賛成　×：反対　―：棄権または欠席

髙松秀樹議員は議長であるため賛否の結果はありません。

笹木慶之議員は監査委員であるため決算認定の採決には加わりません。

服装の自由化を進めています！
～新しい議会に向けて～

このほど、市民に親しみやすい環境づくりから、議会運営委員会で服装の自由化が決定した。

◆委員会から試行的に自由化を進める。
◆議場（本会議）は正装とする。
◆品位は保持し良識を持った服装とする。
◆自由闊達（かったつ）に議論するため。

モートンベイ市より来訪！
～議場でご一行様をお出迎え～

本市の友好都市であるオーストラリア・モートンベイ市のピーター・フラナリー市長をはじめ４名の方が本市に来訪されました。

皆さんは市議会を訪問され、髙松議長が英語で歓迎の意を伝え、モートンベイ市長の感謝のごあいさつを受けました。

議場にモートンベイ市と本市の旗を飾り、歓迎と友好の思いを表し、写真を撮影しました。

お知らせ

12 月定例会会期日程（予定）

会期中の日程

会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月　日	内容
12 月 2 日㈪	本会議（初日）
12 月 3 日㈫	2 委員会・分科会
12 月 4 日㈬	委員会・分科会
12 月 6 日㈮	一般質問
12 月 9 日㈪ ～ 12 月 12 日㈭	一般質問
12 月 16 日㈪	一般会計全体会
12 月 18 日㈬	本会議（最終日）

編集室より

▼令和 6 年能登半島地震・大雨被害で被災された皆さま、ならびにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興、そして被災された皆さまの生活が一日も早く平穏に復することをお祈り申し上げます。1 月 1 日の地震では、死者 341 人、全壊家屋 6273 棟の被害が出ました。さらに、9 月 21 日、線状降水帯が発生、短時間での集中豪雨により、死傷者 60 名、被災した人が暮らす仮設住宅団地のうち 6 カ所が床上浸水し、“二重被災”とも言われる大変厳しい状況に直面しています。防災対策には、十分とか絶対大丈夫とかというものはありません。まずは「命を守る」自助の基本的な取組みが必要不可欠です。（岡）

発行　山陽小野田市議会／編集　広報特別委員会
〒756-8601 山陽小野田市日の出一丁目 1 番 1 号
☎ 82-1182
ホームページ https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/sigikai/
発行日 令和 6年12月1日

市議会ホームページ　市議会フェイスブック　市議会インスタグラム　市議会ユーチューブ